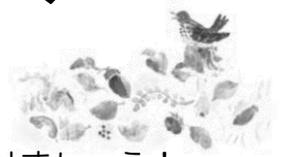


美しい音を求めて… ノン・レガートからレガートへ

ロシアからは多くの大ピアニストたちが生まれていますが、
彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？

ロシアの子どもたちが使用しているピアノ教本を使って“美しい音”を響かせましょう！



◆講座内容◆

1) ロシア奏法について

- ・大きな特徴である「レガート」「ピアニッシモ」の美しさを追求し、音楽がつながって歌になるように演奏することを目指します
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にも繋がる基礎づくりを、子どものころから学びます

2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作りあげ、その上でレガートを小さいころから徹底して体得フレーズを感じて音楽を奏でられるように練習します
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します
 - ・「〈アクティヴ〉に指を動かすとは？」
美しいレガートにつながる大切な要素を説明します



3) レッスンでの指導

各巻の中で、重要なポイントを
数曲取り上げ、指導のコツを紹介します

古畑由美子

(ふるはたゆみこ)



5歳より、ピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を経て、桐朋学園大学ピアノ科を卒業。同大学弦楽器部伴奏研究員を経て、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学留学。在学中、マスタークラスにてレフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ両氏に毎年、師事。帰国後は東京、横浜、新潟、札幌でリサイタル、オーケストラの鍵盤楽器、在京オーケストラメンバーとの室内楽や、FM出演、いしかわミュージックアカデミー、浜松バンドクリニック、草津国際音楽アカデミーなどの公式伴奏者も務めている。後進の育成にも力をいれており、ロシアの子供のピアノ教材を使用した指導講座、及びグループレッスンを各地で行っている。洗練された技術と透明感あふれるピアニッシモは高く評価される。イタリア ファウスト・トレフランカ国際ピアノコンクール入賞、第3回国際ピアノデュオコンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）。これまでにピアノを梶野三重子、故中島和彦、川島伸達、村手静子、クリストフ・リースケ、レフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ、ドミトリー・アレクセーエフ各氏に、室内楽を故数住岸子、紅林こずえ、練木繁夫、H. ビュイグ＝ロジェ各氏に、クラヴィコードをミケーレ・ベヌッツィ氏に師事。

●日時

2016年 8月 28日(日)
10:30～12:30

●会場

カワイ横浜 イベントサロン プラージュ

●受講料(税込)

会員(カワイ音研会、PTNA) : 2,500円
一般 : 3,000円

●教材

「ロシア奏法によるピアノ教本 はじめの一步①②③」
参考:「はじめの一步 曲集」(以上、音楽之友社)
※当日会場でも販売いたします

●お問合わせ・お申込み先

カワイ横浜

〒231-0012 横浜市中区相生町 6-113 オーク桜木町ビル 1階

TEL. 045-650-2351

FAX. 045-650-2357

キリトリ線

古畑由美子 公開講座

2016年 8月 28日(日)

『はじめの一步』実践セミナー

申込書

カワイ横浜 行 FAX. 045-650-2357

申込日 月 日

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員 (カワイ音研会 ・ PTNA) ・ 一般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。